

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓 廣告 五字一圓 十字二圓 二十字三圓 三十字四圓 五十字五圓 一百字七圓 二百字十圓 三百字十二圓 四百字十五圓 五百字十八圓 六百字二十圓 七百字二十五圓 八百字三十圓 九百字三十五圓 一千字四十圓 刊例 日刊 日曜 祝日 祭日 別定 印刷所 常盤毎日印刷所 電話六三〇番

九月二十日夕刊

## 梅毒 淋病

皮膚病 專門婦人病

### 松村病院

平南町 電話七〇一

### 常磐文藝

それだけのこころ さとう・きよこ

丘の青芒が  
「夏ですわね 陽が白いこと」  
丘の穂芒が  
「秋になりましたね  
あの青年はとうしたの」

### 極上中學服入荷

一年生位 四圓五十錢  
二年生位 四圓八十錢  
三年生位 五圓十錢

平二 なかや洋服店 電二〇三

## 市原病院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

## 原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

### 理想的耐水耐熱接合劑

## キングパスト

◎水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な接着劑  
◎一名コナニカワ  
◎四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的だ  
◎理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

### 小野屋藥店

電話四四番

スター好ナフ  
トール 着尺  
ナフトール實  
用向フトン地  
秋物 入荷  
龜田屋  
平町 電五七

### 滿蒙經營の基調

山本 泰太郎 (六)

然るに最近に至つて其の研究實驗が遂げられ、經濟的の事業として見込みが立つたので其の第一期工程として、年産五萬五千噸の製油工場を新設することに決定した。既に其の工事に着手したのであります。が來年の暮までには油を見る豫定であります。現在日本が輸入する鑛油は約七十萬噸、格六千萬圓であります。越後、秋田等の日本の石油

の生産は年々寧ろ退却の狀態であるのに、需要は倍々増加して行く、即ち輸入は年々増加するのであるが現在の輸入額七十萬噸に對して滿鐵は約五萬噸を昭和五年より供給し得ることになり、尙將來の計算をして見ると撫順に於ける五十億噸の油岩が五パーセントの油を含有するとしても二億五千萬噸の油を得る譯であり又假りに油岩の採掘量を五分の一としても五千萬噸の油を得る勘定になります。此の第一期計畫の結果が愈々宜いといふことになれば十五萬噸乃至二十萬噸の油を日本に持つて來ることは容易なるのでありますから、現在輸入額の三分の一は滿洲の油によつて充たされる計數になるのであります。然らば其の油の原價はどうかといふと、未だ技術上幾分研究の餘地はあるが概して輸入品に對抗し得る數字であります。斯くて此の五萬五千噸の製油工場の結果をまつて豫期の成果を得れば直ちに十萬噸或は二十萬噸の工場を建設して事業を擴張す。第二期の計畫に入りたいと思ふのである

## 久全屋商店

警城セメント會社特約店

△良品廉賣し勝る商畧なし△  
▽確實敏捷は釜屋の生命なり▽

警城平町五丁目 電話九番 一三九番

## 耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)



## COSSACK

### 御大典記念品附特賣

人名念記筆年萬クツサコ

種各他其

壹號 價特  
貳號 價特  
參號 價特  
肆號 價特  
伍號 價特  
陸號 價特  
柒號 價特  
捌號 價特  
玖號 價特  
拾號 價特

堂地天倉高 町平城警

組一	本ノ	百品	三景
五等	四等	參等	貳等
本特賣抽籤ニハ全部空籤ナシ	船來ニツ折シース	最新式置時計十五個	十八金厚側瑞西製拾石入アングル十形腕時計計五十個
景品引換	抽籤發表	抽籤方法	抽籤場所
抽籤發表一ヶ月以内トス	御即位式當日當籤者各位ニ通知ス	在平新聞記者立會嚴正施行ス	公會堂
			特價自昭和三年九月一日滿二ヶ月間 期日昭和三年拾月卅一日

### 選舉有權者の

### 申告成績がよい

#### 平町當局調査に多忙

いよ／＼來春に迫る各町村會改選を前にして平町當局では有權者の調査に頗る多忙を極めてゐるが既報の全町有資格者からの申告總數は約四千名に上つたがこれについて平町當局は語る

大体この申告に基づいて來る十五日から調査を開始するが町民の自覺によつて申告の成績極めて良好で名簿作成上非常に便益を得ることは喜ばしい申告された方は至急申告してもらひたい調査の結果でなければ判らないが有資格者は大体四千名以上に達するであらう云々

### 人命救助

#### 紺屋町の黒澤君

平町紺屋町四八黒澤茂三(君)は去六月二十四日平町稅務署裏新川畔を通行中平町字材木町吉野幸平(君)が誤つて河中に墜落あわや溺死せんとしたのを發見着衣のまゝ河中に飛び込み幸平を救ひ上げた廉により十日村金一封を添へて知事から人命救助で表彰された

### 平陽女學校

#### 手藝品展覽

平町播磨小路平陽女學校友會にては十四日から三日間午前八時より午後十時迄

### 模様の秋今

#### 強烈な色彩

こよみの上ではもう秋です。みんなは残暑にあへて居る。でも服飾界には早秋の流行の大きな戦闘準備ができました。ことに本年は御大典をひかへて居ることゝ流行界は一入の努力をして居るやうです。まづ色彩を見ますと世界の主潮といふべきブルが

### 大勢を

占めて居りますが、これが納戸とかグリーンとか乃至は鐵とかい

生徒の作品展覽會を開き學業成績、裁縫品、手藝品等約三千點其他の参考品等を出陳一般の來觀を歓迎する由

### 頭部に裂傷

#### 自動車事故

平町尼子亭自動車運轉手同町録田町居住古川勇(君)は十一日午後十一時半頃平町三丁目道路にて自動車の約一間前に通行者を認め俄に回避せんとした時當時廿五哩の速度を出して居た爲め急停車し能はず左側の泥除で茨城縣東茨城郡酒門村水戸驛車掌矢口常松(君)を跳ね飛ばし頭部に長さ四寸深さ骨膜に達する傷を負はせ平署にて取調中

### 釋放者保護

#### 平自營會にて

九月十三日は明治大帝御大喪の日に恩赦詔勅の發布された實に司法保護事業界の記念すべき日をとし年々全國一齊に保護の大宣傳を舉行することとなつた平自營會にては中央保護機關たる輔成會より寄贈し宣傳ポスター數百枚の外本會募集された釋放者保護標語四千

枚を印刷し之を石城、双葉兩郡の各町村役場及會社等に配付し尚平町、四倉、湯本の各町は自動車にて撒布し普及宣傳に努めた殊に當日關御井嶽藥師の縁日にて人出多かりし事とて其効果

### 水遊びの少年

### 頭蓋骨を粉砕

#### 裏山の崖から

石城郡内郷村大字宮字平太郎磐城炭坑坑夫キンの長男三村政夫(君)は九日午後一時頃水遊びを爲さんと自宅裏山の崖から溜池に飛び込んだ際池底の石で強か頭部を打ち付け頭蓋骨を粉砕死した

### 片倉製糸

#### 募集株の整理

片倉製糸株式會社では兼て株式の募集期間であつたか第一回の募集期間は九月十日までと公示したので十日締切りをなし募集株の整理を開始した、公募集株は二萬株、曩に發起人會を開いて



### 揚げ豆腐

お豆腐を粗板の上に布巾を敷いた上に置き、上から布巾を被せて軽い壓石をし、

多大であらう因に平町三國屋印刷所にては印刷を尼子自動車部にては自動車料を頗る低廉に提供せられ吉田新聞店主は篤志により村落配達の新報紙に折込無料にて送付せられる由

### 兎の耳

絶命した豪農の娘が蘇生す。千葉縣東葛飾郡鎌谷村豪農木ノ下義雄氏の長女市子(君)は豫てから心臟で病臥中であつたが八日午後三時頃とう／＼絶命したので家人は泣く／＼醫師の診斷書を貰ひ受けて九日埋葬しやうとして午後三時頃棺に納め近親その他大勢の會葬者が墓地へ向ふべく出棺する間際棺の中から奇怪な呻き聲が聴ははじめたので一同は驚き嘆きに沈んでゐた兩親の手で棺の蓋を開いて見ると既に死亡した筈の市子が息を吹返したので「お葬ひどころかお祝ひだ」と一家は忽ち愁眉を開きそれ醫師へと駈出すやらくつおいつ悲喜劇を演じてゐる

三丁目高會天天堂にては御大典を記念し日頃の華客に對する謝恩として高級コサツク萬年筆の景品付大特賣を行ふ由で特賣期間は九月一日から來月卅一日迄である

### 萬年筆の特賣

水氣を切りましたら拍子木の様に切り、胡麻の油の煮沸したのであげ、煮出汁、味の素、醬油少々、味淋少々を汁の中で煮ます。汁を充分煮詰めましたら小井に五つ六つ位も、青海苔をふりかけ、摺生薑を一掴まみわきに添へて出します。これも材料はいち／＼申上

機調でゆくとか緋にしてもごだ／＼せずさらりとした單純さをゆくとか明るくはつきりした單純さはたしかにモダン調の強味でありませうろが中々

### 發展し

これは一昨年ごろから出たものですが、ことしの春と夏には大變流行しことにその模段式は一寸氣の利いたものが少くありませんでしたが秋にもこれが相當出てゐます。もつとも秋のことですからうろこも多少小さくなつてゐて涼味を主にねらつた夏ものとは柄からしてちがつてはゐますがどにか大變發展してゐます、もし秋から冬へのものでも上手に鱗をねらんとてありませう。冬物としては重ねの上下そろひが出るも申されてゐます。銘仙には更紗やろうけつが出てゐますがこれも若向きとして雑多な色彩を用ひないで單純な色を用ひてモダン気分を出してゐるやうです。

### 十三日會講演

平町十三日會は十三日午後七時より平銀行樓上に於て例會を開き野崎喜八郎氏、南洋スマトラの話と題する講演ある由